<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

持続可能な農業の確立のため、JAや農林中金等の関係機関と連携し、JA融資の高度化を図るとともに、JAグループが掲げる「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向け、基金協会としてSDGsの推進に取り組む。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	環境を意識した農地維持を前提に、再生可能エネルギーにかかる保証を拡充する	R5年度保証残高 644,157千円 →R8年度 保証残高 700,000千円
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	協会内で使用する電気量の低減を図る	R5年度32,874kwh →R8年度31,000kwh
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	使用する印刷用紙の使用量の低減を図る	R5年度98,469枚 →R8年度85,000枚

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

JAや農林中金、行政と連携し、地域農村・農業の維持を目指すとともに、職場内においては、コミュニケーションが取り、公正で開かれ、働きやすい職場の整備を図る。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	環境を意識した農地維持を前提に、再生可能エネルギーにかかる保証を拡充する	農林中金と連携し、利用拡大する
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	農・畜産業における太陽光発電導入に係る保証取組みを行っており、県内での利用は拡大している。	R5年度 保証残高644,157千円
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	協会内で使用する電気料の低減を図る	R2年度(34,400kwh)を10%減少
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	目標の10%減少は達成することができなかったが、昼休みなど業務時間外等はこまめに電気を消したことから前期指数より消費電力を削減することができた。	R5年度32,874kwh
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 □ 社会 ☑ 経済	使用する印刷用紙の使用量の低減を図る	R2年度86,041枚を10%減少
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	目標未達成の理由として、電子化されたデータを紙出力する等、反作用的な印刷があったことがあげられる。今後の対応としては更なる電子化を行い、必要以上に印刷しないようにする。	R5年度98,469枚

・「三側面」「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**